

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

好評の真空チャック MarkⅢは成熟したモデルで有り、多くの使用ユーザーより高い評価を頂いております。

Mark-Ⅲ-V5は機能・拡張性を優先させたモデルの為、コスト的にユーザーからの不満も有りました。

今回コストを抑えたモデルを二機種（Type-S・M）開発いたしました、真空排気性能はMarkⅢ-V5と同じにし、コストを抑えたことで高い評価を頂いております。

現状モデル

- ・真空チャックユニット Mark-Ⅲ Type- S
- ・真空チャックユニット Mark-Ⅲ Type- M
- ・真空チャックユニット Mark-Ⅲ Type- D
- ・真空チャックユニット Mark-Ⅲ Type- F

納入実績（順位不順）

株式会社 牧野フライス（厚木部品加工技術センター・目黒に各1台）

三菱重工 高砂製作所 株式会社（18台）

三菱マテリアル株式会社（1台）

株式会社 アイ・エイチ・アイ・エアロスペース（2台）

日産自動車株式会社（3台）

ラサ工業 株式会社（3台）

日本飛行 機株式会社（1台）

コバレントM 株式会社（42台）

株式会社 シマノ（1台）

精密樹脂部品加工 I社（13台）

電子部品製造 K社（11台）

半導体部品製造 N社（8台）

半導体部品製造 F社（4台）

その他 国内優良企業へ納入。海外はアメリカ・台湾・ベトナム・香港・タイ・中国・韓国等。

多くの優良企業に納品を複数（納品台数の複数納入の割合は70%以上）している事からも、ユーザーからの信頼性が分ると思います。

レポートが多い理由は、真空チャックのノウハウを理解して頂いた会社からです。しかし真空チャックを理解して貰えないと導入が難しいのも事実です。

この機会に他社との競争力の為に導入を御検討頂ければ幸いです。

フジエンジニアリング

下村 新一郎

e-mail : fuji-e3@nifty.com

URL : <http://homepage2.nifty.com/fuji-e3>